

## 第4学年2組 道徳科学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 日 時 令和3年11月19日(金) 4校時
- 2 学年・組 4年2組
- 3 主題名 分けへだてなく 公正, 公平, 社会正義 C-(12)
- 4 教材名 「いじりといじめ」 出典『生きる力4』(日本文教出版)

### 5 ねらい

まさるくんの失敗を笑うことがいじめと考えるみかさんと、いじりと考えるげんきくんの言い合いを聞いて葛藤する主人公を通して、誰に対しても分け隔てせず、公正、公平な態度で接しようとする道徳的心情を育てる。

### 6 主題設定の理由

#### ・道徳的価値について

公正、公平とは、誰にでも分け隔て無く接することができる心を基盤として、個の状況や立場を考えた適切な態度であると考え。これは、差別や偏見のない望ましい集団づくりには欠かせない態度である。本教材では、いじりといじめについて考え、相手の気持ちを考えないいじりはいじめにつながることに気づき、誰に対しても分け隔てをせず、相手を大切にしようとする心情を育てることを主なねらいとしている。

#### ・児童の実態について

本学級の児童は、明るく元気な児童が多数ではあるが、反対に控えめで無口な児童もいる。学級遊びなどでは、活発な児童によってクラスの雰囲気が明るくなり、楽しい環境が作られる事が多い。その反面いじりに対しては、人を笑わせることの快感を覚えはじめ、相手の気持ちを深く考えずに、「おもしろいから」という理由で、軽々しい行動をしてしまいがちである。また、相手が笑わせようとした言動なのか、そうではないのかを判断せずに、笑ってしまっていることも見られる。

#### ・教材について

本教材は、「いじり」に対して何とも思っていなかった主人公ゆうきが、「いじりといじめの違い」について考え始めることを扱った教材である。

失敗を笑ったことはよかったか、おもしろかったら失敗を笑ってよいのか、相手が気にしている様子がなかったら笑ってよいのか、冗談で済ませてよいのかと、「いじり」について考えさせる視点が示されている。「してはいけない」ということだけでなく、なぜいけないのかという理由についてしっかりと話し合うことが必要である。「今の、笑っていいのかな。」と問題を提起したみかに対して、主人公や周りの登場人物の考え方についてしっかりと話し合うことにより、「いじる」という行為に隠された差別や偏見について考える事ができる教材であると考え。

#### ・指導にあたって

相手の気持ちを考えないいじりは、人間関係や集団生活に支障をきたし、いじめにもつながってしまうことを理解させたい。特に登場人物の心情を通して、いじりといじめについて考えさせ、相手の気持ちを考え、判断するという考えを持つことができるようにしたい。中心発問においては、シンキングツールを使い、多面的に読み取ることで、主人公の心の葛藤をより深く感じとらせた

7 本時の指導  
(1) 本時の目標

まさるくんの失敗を笑うことがいじめと考えるみかさんと、いじりと考えるげんきくんの言い合いを聞いて葛藤する主人公を通して、誰に対しても分け隔てせず、公正、公平な態度で接しようとする道徳的心情を育てる。



☆本時における中心的な思考

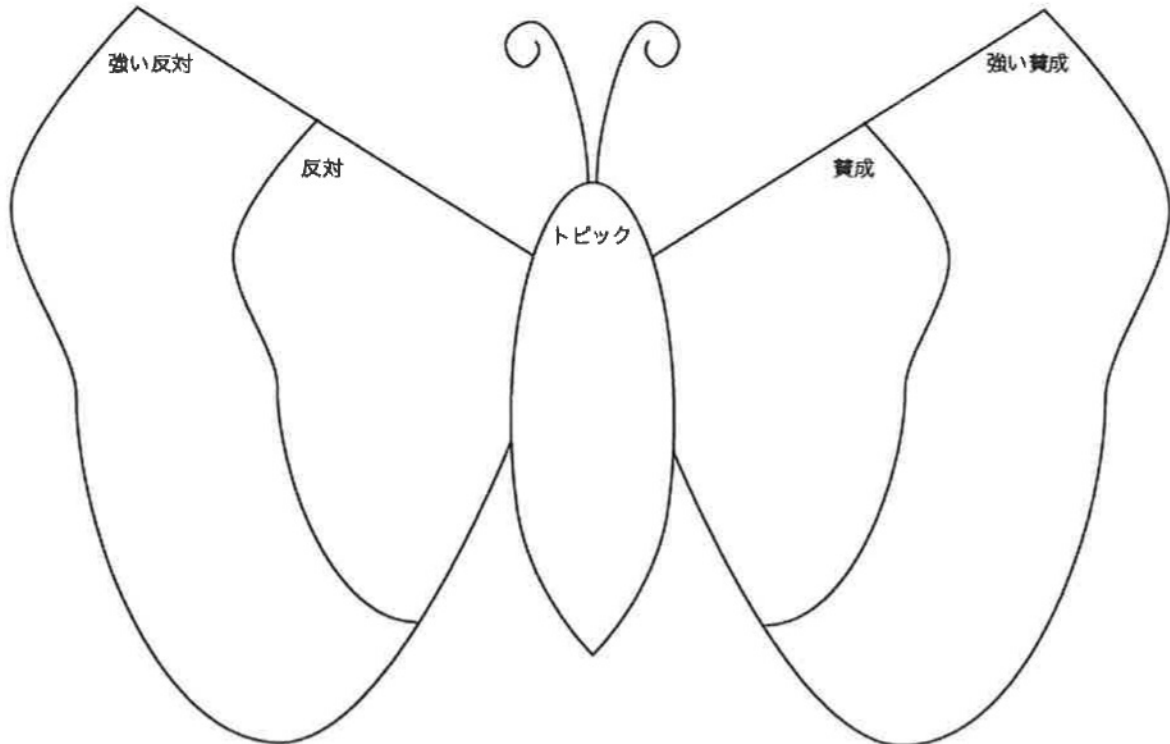
まさるくんの間違いを笑うことについて、よかったと思う気持ちといけないと思う気持ちについて多面的に考える。

思考スキルとツール  
期待している思考 (考え方)

多面的に見る。  
(バタフライチャート)

学び合うための場の設定  
(必然的に関わり合う工夫)

個人思考  
⇓  
全体共有



(2) 本時の展開

	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点
導入	いじめといじりについて思っていることを発表する。	いじめとは ・してはいけない。差別。 いじりとは ・してもいい? ちょっかい。	導入時の児童の見方や考え方を確認する。
展開	教材の範読を聞く。  何について話し合いをしているのかを意識しながら聞く。	○何について言い合いをしていましたか。 ・まさるくんの間違いを笑うこと。 ・げんきくんはいじりと考えている。 ・みかさんはいじめと考えている。	登場人物の確認。 二人がどのような会話で、言い合いになっているかを意識させながら聞かせる。 場面の様子や気持ちを整理していく。
	ゆうきさんの迷う気持ちをバタフライチャートを使って、多面的に見る。	二人の言い合いを聞いて、ゆうきさんはどんなことを考えたでしょう。	ゆうきは、どちらとも考えを持っていることを押さえる。
	個人思考	○まさるくんの間違いを笑うことについて、よいと思う気持ちといけないと思う気持ちの理由を多面的に考えましょう。 <b>よい</b> ・面白いから ・いつも笑っていたから別によい。 ・テレビでも同じようなことをよくしている。 ・みんな笑っていたからよい。	<b>多面的に見る</b>  バタフライチャートを使って、主人公の気持ちを多面的に整理させる。
	全体共有	<b>いけない</b> <b>【親切・思いやり】</b> ・人のことを笑うのはよくない。 ・相手を傷つけている。 ・相手の気持ちを考えていない。 <b>【道徳的価値・生き方】</b> ・相手に関係なく、人の失敗を笑う事はいけない。 ・この人だったら笑っていいと区別してはいけない。 ・人によって態度を変えない。  補助発問 ○まさるくんだからわらったのかな?  あなたなら 笑う? 笑わない?	中心発問と補助発問を関連づけながら、対話を通して、主題にせまることができるようにする。  補助発問によって、「誰に対しても分け隔てせず」に着目した道徳的価値を深める。
	自分だったらどうか考える。	・誰だって、相手の気持ちを考えないで笑うのはいけない。	自分事として考えられるようにする。
終末	本時の振り返りを書く。	授業を通して、分かったことや今までの自分、これからの自分を見つめ直そう。	

# 教材分析シート

	教材名（出典）	いじめといじり（生きる力）	
1	教材を読む （骨格をつかむ）	①生き方を自覚（変化）したのは誰か（主人公）	ゆうき
		②生き方を自覚（変化）することになった出来事（助言）は何か	
		③生き方を自覚（変化）するのはどこか	だんだん、前を向いていられなくなった。
2	<p>＜構図＞</p> <p>話の展開</p> <p>みか げんき ゆうき</p> <p>まさるくんのまちがいに対しみんながわらった。</p> <p>道徳上の展開</p>	<p>悩む気持ち</p> <p>後悔</p> <p>相手を思いやる気持ち</p>	
		3 中心発問	<p>二人の言い合いを聞いて、ゆうきさんはどんなことを考えたでしょう。</p> <p>（まさるくんの間違いを笑うことについてよかったと思う気持ちといけなく思う気持ちの理由を考えましょう。）</p>
4	中心発問に対する予想される児童生徒の反応（答え）	<p><b>よい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 面白いから</li> <li>• いつも笑っていたから別によい。</li> <li>• テレビでも同じようなことをよくしている。</li> <li>• みんな笑っていたからよい。</li> </ul> <p><b>いけない</b></p> <p>【親切・思いやり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 人のことを笑うのはよくない。</li> <li>• 相手を傷つけている。</li> <li>• 相手の気持ちを考えていない。</li> </ul> <p>【道徳的価値・生き方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 相手に関係なく、人の失敗を笑う事はいけない。</li> <li>• この人だったら笑っていいと区別してはいけない。</li> <li>• 人によって態度を変えない。</li> </ul> <p>補助発問（道徳的価値をさらに深く考えられるように問いを準備する）</p> <p>○まさるくんだからわらったのかな？</p>	

5	主題・内容項目	分けへだてなく・C 公正, 公平, 社会正義	
6		中心発問以外の場面の発問 (*場面の数は教材(資料)による)	予想される児童生徒の反応(答)
	場面		
	場面		
7	ねらい	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         (A) まさるくんの失敗を笑うことがいじめと考えるみかさんと、いじりと考えるげんきくんの言い合いを聞いて葛藤する       </div>	(道徳的に変化する) 主人公を通して
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         (B) 誰に対しても分け隔てせず, 公正, 公平な態度で接       </div>	しようとする
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">         (C) 道徳的心情       </div>	を育てる。
8	本時で考える道徳的価値 *上記「7」の(B)に記入した道徳的価値についての詳細	<p>笑いに変わってくれることが多い児童に対し, この子の失敗だったら笑ってもいいと思っている児童が少なからずいる。このことからいじめにつながっていくことが考えられる。誰に対しても同じ考えを持ち, 相手の気持ちを考えないいじりはいじめにつながることに気づき, 相手の気持ちを大切にしようとする心情を育てたい。</p>	
		※書き方	<p>(A): 教材の活用を簡潔に表記する。(主な登場人物が道徳的に変化する場合は, 「出来事(助言)」の部分抜き出して表記する。)</p> <p>(B): 内容項目から適切に引き出す</p> <p>(C): 一般的には道徳性の諸様相(道徳的判断力, 道徳的心情, 道徳的実践意欲と態度)を入れる</p>